

受け継がれて来た伝統と山車(だし)



みこまいの衣装



須賀神社の春の大祭では山車が出ます。山車四台・花車一台があり、地元の小学生が練習に励んで、どうか「お囃子」と「巫女舞い」をつないでいます。これらは、市無形民俗文化財に1982年に指定されました。1893年(明治26年)、全ての山車が、火事によって燃えてしまいました。その2年後、1895年(明治28年)以降に築造または買い入れられました。



昔の人の思いがつまった須賀神社



この須賀神社は、創立がよく分からないのですが、1513年12月14日に再建とあり、室町時代後期には創られているとみられます。この神社でお祀りしている神様は、「すさのみこと」をはじめ9人の神様です。春の大祭で、近くの神明宮に行くのは、弟(須賀神社)が姉(神明宮)へ年に一度会いに行く、とも言われています。